

(田中委員)

冷温停止状態の話ではないのですか。

(東京電力HD：菅野GM)

冷温停止に持っていくのはユニット操作手順書に入ります。

(田中委員)

では、その前。

(東京電力HD：菅野GM)

その前です。

(田中委員)

では、聞きたいことがまたたくさん出ました。

(中島座長)

時間もかなり押していますので、今のようなところで。まずは、1Fでの運用の仕方がああるいはもう少しベーシックなマニュアルの考え方みたいなところの確認も含めて、田中委員だけではなく、ほかの委員からのご意見があると思いますので。またこの場でやり取りをしていると時間がかかりますから、できるだけ文書で出していただいて、また東京電力ホールディングスに回答いただいて、そこで議論するという形で進めていきたいと思っています。

(原委員)

提案ですけれども、このモデル、解析対象として興味がある様に思います。AIを適用すると、煩雑さは有るでしょうが、何かしらの進展が見られると思います。田中委員がおっしゃったように、いろいろな条件があるので、それぞれのところで地道に考えていけば、いろいろな結果が得られると思います。

(中島座長)

まだピンと来なくて申し訳ないのですが、ただ、今のところは、まず我々がきちんと理解しなければならぬところもありますので、事実関係をまずはっきりさせたいと思います。

すみません、進行が悪くて少し延びましたけれども、今の資料3について、継続審議になりますけれども、今日のところはよろしいでしょうか。

では、報告のもう一つの資料4の寺尾トレンチの現地視察について、事務局からご説明をお願いします。